

鳥取大学

総合型選抜ガイド

2024

NAME

じゅけんせい



挑戦者

求む

コマンド

▶ べんきょう	おふる
すいみん	ごはん
めんせつ	きんとれ

総合型選抜とは？

鳥取大学は、「知と実践の融合」を教育理念に掲げ、
 教養豊かな人材の養成や地域社会の産業、
 文化等への寄与を教育目標にしています。
 このため、入学者選抜においても、総合型選抜を採用し、
 多様な才能を持った意欲ある人を選抜します。



● 日程 < 予定 >

※日程は【鳥取大学入学試験情報】でご確認ください。

出願期間	第1次選考	第1次選考 結果発表	第2次選考	合格発表	入学手続	Web研修
2023 9月上旬	2023 9月下旬	2023 10月上旬	2023 10月 中旬～下旬	2023 11月上旬	2023 合格発表後 1週間程度	1回目 2023 11月中旬 2回目 2024 2月上旬

● 入試データ 鳥取大学総合型選抜実施状況

※2023年度、2022年度の過去2年間。※()内は女子の内数で示す。

学 部	学科等	2023年度入試				2022年度入試			
		募集 人員	志願者数	第1次選考 合格者数	第2次選考 合格者数	募集 人員	志願者数	第1次選考 合格者数	第2次選考 合格者数
地域学部	地域学科地域創造コース	10	28 (12)	21 (10)	13 (9)	10	29 (12)	24 (12)	11 (7)
	地域学科人間形成コース	4	11 (9)	10 (8)	6 (6)	4	14 (10)	8 (6)	5 (4)
	地域学科国際地域文化コース	5	8 (6)	7 (6)	5 (5)	5	8 (6)	7 (6)	5 (4)
	計	19	47 (27)	38 (24)	24 (20)	19	51 (28)	39 (24)	21 (15)
工学部	社会システム土木系学科	2	6 (1)	4 (1)	2 (1)	2	4 (1)	4 (1)	1 (0)
	計	2	6 (1)	4 (1)	2 (1)	2	4 (1)	4 (1)	1 (0)
農学部	生命環境農学科	12	33 (21)	24 (17)	12 (8)	12	37 (14)	24 (12)	13 (7)
	計	12	33 (21)	24 (17)	12 (8)	12	37 (14)	24 (12)	13 (7)
総 計		33	86 (49)	66 (42)	38 (29)	33	92 (43)	67 (37)	35 (22)

総合型選抜 第1次選考のポイント

2023年度総合型選抜がどのように行われたかについて、第1次選考のポイントを示したものです。
2024年度入試が、次のように行われるということではありませんので、ご注意ください。



書類選考

出願書類の自己推薦・志望理由書と調査書を審査しました。

「自己推薦・志望理由書」には、高校時代にがんばった活動を3つまで選択し、その中でもっとも力を入れて取り組んだ活動の具体的な内容と自分が成長したこと(800字)、学科・コースを志望する理由(400字)、大学在学中にもっとも取り組みたい活動内容に(400字)、大学卒業後に社会でどのように活躍したいか(400字)をインターネット出願システムに入力します。また、資格・検定取得、表彰なども最大5つまで入力できます。これらの記載事項から「学科・コースへの意欲関心や志望動機」、「高校等での活動歴」、「文章の表現力」を中心に評価しました。

「調査書」からは、資格取得の内容、特記事項の記載を中心に審査し、英語に関する一定以上の資格等についても評価しました。

●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性
1次(調査書)	○		○
1次(自己推薦・志望理由書)	○	○	○
1次(面接)		○	○



個人面接

2名の面接官による、1人あたり15分の面接を行いました。

「自己推薦・志望理由書」からは、自分の強みは何か、学校生活で力を入れて取り組んだことは何か、それらが自分の成長とどのように関係するか、どのようなことを大学で学びたいのか、なぜ鳥取大学の学部・学科・コースを志望するのか、学びたい学問の興味関心がより深いのか、大学卒業後に何をしたいか、それらについて、より詳しく具体的な説明を求めました。

「資格・検定取得、表彰など」や調査書の特記事項の記載内容からも質問しました。

これらの質問内容を正しく理解しているか、質問への明確な受け答えができるか、その回答は自分でよく考え、論理的かつ明確に表現できるかということを中心に評価しました。

第1次選考(個人面接)は自宅や学校が試験会場です！

鳥取大学では、2005年度入試より、鳥取だけでなく、東京、名古屋(2019年より)、大阪、岡山、福岡にも会場を設けて、対面による第1次選考(個人面接)を行ってきました。

2021年度入試では、新型コロナウイルス感染症のまん延により個人面接を中止しましたが、2022年度入試は、オンラインで個人面接を実施しました。Web会議システムの「Zoom」を使用して行いました。志願者に用意していただいたのは、ビデオ通話が可能な機器(PC、タブレット、スマートフォン)、それらの機器に接続可能なマイク、Webカメラ及びイヤホン(ヘッドセット)と静穏な環境で受験できる場所でした。

個人面接の数日前には、志願者全員と事前に接続テストを実施しました。これで初めてWeb会議システムを使う人も安心して受験をしていただきました。

また、面接試験時間中には、第三者が入室しないこと、メモや録音、録画をしないことなど、いくつかの禁止事項を設けて公平な試験の実施を行いました。すべての受験生が問題なく個人面接を実施できました。2023年度入試でも同様にWebを用いて実施し、今後もWebでの面接を予定しています。このように鳥取大学の総合型選抜第1次選考では、会場への移動のために時間や費用がかからず、慣れた場所で受験をすることができます！



地域学科 地域創造コース

募集予定

10人

わたしの
総合型選抜



大好きな故郷を元気にしたい。力を付けるため鳥大へ

故郷の岐阜県飛騨市は、県外へ出ていく若者が多い地域。でも僕は地元が大好きで、将来は地域を元気づけられるような仕事がしたいと考えていました。受験方法は総合型選抜に絞り、最初は経済学部を候補に挙げていましたが、調べていくうちに、もっと直接的に地域のことを学べる鳥大にたどり着きました。

1次面接はオンラインで行われる予定になっていたのですが、数回はWeb会議システム「Zoom」で練習。面接官が2人というパターンも試しました。本番で一番困ったのは、「他の大学でもいいのでは？」という質問。なんとか答えることができましたが、「なぜ鳥大なのか」という志望理由を突き詰めて、明確な考えを持つことは必須ですね。

意外に難しい講義の要約。苦手な人は練習あるのみ！

課題論文は、序論・本論・結論という構成を基本に、練習する中で自分なりのテンプレートをつかんでいきました。本番では、70分の講義内容を400字に要約する設問は字数オーバー、逆に資源の利用や管理の方策について600字で自分の考えを述べる設問は用紙が埋まらないで、時間ギリギリまで悩みました。特に要約が難しく、簡潔にまとめる練習はたくさんやっておくべきですね。

グループ討論は積極的に発言し、自分の存在感を示すことが第一。そして、同じくらい他の人の発言を聞くことも大事ですよ。やり過ぎだと思くらい対策しても、本番はそれを越えてきます。関係ないと思う知識も頭に入れておいて損はありません。

2年

たけのうち りょう

竹之内 亮さん (岐阜県立吉城高等学校 出身)

MY
FAVORITE
"TOTTORI"

のどか&ほのぼの、暮らしやすさ満点
のどかで暮らしやすいところが、僕の故郷と似ています。アパートの大家さんや近所の方々が話しかけてくれるので、ひとり暮らしでもホッと安心できるんですね。

全文は
Webで!



第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2023年度総合型選抜がどのように行われたかについて、学部・学科・コースの募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2024年度総合型選抜が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して
求める力

自らの地域の発展に貢献できるキーパーソンに成長するための、地域の諸問題への高い関心や行動力、あるいは問題解決に取り組むユニークな発想力とリーダーシップなどが求められます。

スクーリング	講師(1名)が「地域における意見集約・地域づくりの『範囲(区域・枠組み)』」についての講義(70分)を行い、その後、受験者との質疑応答(20分)を行いました。
課題論文	スクーリングの内容に関連した設問(2問)に90分で解答するものでした。設問の内容は、「区域」を設定することの重要性についてスクーリングの内容を400字で要約するもの(問1)と、スクーリングで説明した地域防災・災害対策の「枠組み」と関連付けて自らの考えを700字以内で記述するもの(問2)でした。
グループディスカッション	7人ずつ3グループに分かれ、1グループあたり45分で討議を行いました。テーマは「ゴミ出しマナーの向上に向けた地域の重層的な取り組みを考える」で、受験生がある市の町内会役員になったと仮定し、町内会や小学校区レベルあるいは全市レベルといった地域の重層性をふまえつつ、どのような取り組みを行えばゴミ出しマナー向上が実現できるかを、グループで議論しました。
個人面接	2名の面接官による、1人あたり15分の面接を行いました。

●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・協働性	創造性
2次(書類審査)	○	○	○	○	○
2次(スクーリング)	○	○	○	○	○
2次(課題論文)	○	○	○	○	○
2次(グループディスカッション)	○	○	○	○	○
2次(面接)	○	○	○	○	○

地域学科 人間形成コース

募集予定

4人



わたしの
総合型選抜

障がいのある弟と共に成長した日々を活かせる未来へ

「人の役に立てる仕事がしたい」。障がいのある弟がおり、いつしかそう願うようになった私。高1の冬、3年の先輩が「鳥大で特別支援学校の教員を目指したい」と話すのを聞き、ハッとしました。「弟と過ごしてきた日々を活かすことができる」と感じ、同じ目標を決意。それからは勉強も部活動もより一層真剣に取り組みました。

願書を作成するときは、大学のパンフレットやWebサイトで情報収集。特に地域学科の資料は、当年のものだけでなく過去の資料もできるだけ集め、何度も出てくる言葉に注目。そこには大学が求めているものが込められているはずだと思い、そのキーワードを盛り込んで書きました。

小論文は書く力だけでなく、“読解力”も鍛えよう

1次面接では、表情がよく見えるよう前髪を上げ、笑顔を絶やさないと意識。和やかな雰囲気を楽しかったけど、最後に「あと少し時間があるので、言いたいことがあれば」と促されて焦りました！一言でアピールできるよう準備しましょう。

私は英語が苦手だったので、2次の小論文に出てくる英文翻訳対策には時間をかけました。論文を書く力は練習を繰り返すたび上がったけど、読解力が弱く、論点がずれていることが多くて。出題文に込められた意図を捉える力も大事なんですね。

失敗したと思っていたので、合格を伝えられたときはビックリ。今年はまだ4年生。教員免許取得に向けて教育実習やボランティア活動に励んでいます！

4年

たむら なお
田村 菜緒さん (兵庫県立千種高等学校 出身)

MY
FAVORITE
"TOTTORI"

サクサクの天ぷらで頂く日本海の幸

自転車で行ける距離にある鳥取港には、リーズナブルな海鮮料理店が。私が好きなのは「白身魚の天ぷら」。定食で頼めばお刺身付きに。1度で2度美味しいんですよ！

全文は
Webで!



第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2023年度総合型選抜がどのように行われたかについて、学部・学科・コースの募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2024年度総合型選抜が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して
求める力

地域教育のキーパーソンをめざすために必要な、確かな基礎学力、柔軟で創造的な思考力と表現力、他者と協働して問題解決する力を求めます。

小論文	小論文は2つの設問で構成しました。設問1では、海外における野外教育に関する英文を出題文としました。文章のなかの下線部を和訳する力をみる1問と、内容を要約する力をみる1問を課しました。設問2では、ある書店員による、ジェンダーに関する問題意識に関する日本語の文章を出題し、内容を適切に読み取れているかを問う1問と、自身のこれからの学びに対する問題意識を問う1問を出しました。
口頭発表	口頭発表では、準備時間を合わせて一人20分程度、小論文の設問2の後半の問題に基づき、自身の問題意識がこれから学ぶ地域教育とどのように関わっているかを問いました。
グループ ディスカッション	ヤングケアラーや不登校、障がい児教育に関連した資料をもとに、地域において子ども達の学びをどのように支えていったら良いかについて2グループに分かれて話し合いました。その後、各グループで意見をまとめたことを発表し、グループ間で質疑応答を行いました。試験時間は90分でした。
個人面接	4名の面接官による、1人あたり20分の面接を行いました。志望理由やこれまで注力してきたこと、将来展望について尋ねました。

●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・協働性
2次(小論文)	○	○	○	
2次(口頭発表)		○	○	○
2次(グループディスカッション)		○	○	○
2次(個人面接)	○	○	○	○

地域学科 国際地域文化コース 募集予定 5人

わたしの
総合型選抜



世界に目を向け、子どもたちを守る活動に従事したい

高校の授業で学んだことをきっかけに、将来ユニセフで働きたいと思うようになりました。そのためには、日本だけでなく世界の文化や歴史を知るべきだと考え、進学先を探していると、「鳥大の総合型選抜を受けないか」と担任の先生。国際地域文化コースは自分が学びたいこととマッチしていると感じ、挑戦することにしました。

1次面接はこの年からオンラインに。あまり慣れていなかったのですが、本番と同じWeb会議システム「Zoom」を使って練習しました。画面を見て話していると、「目が合わないよ」と先生から指摘が。カメラレンズを見ないといけないんですね。対面の面接とは違う難しさやコツがあるので、オンライン用の練習は大事ですよ。

掘り下げて考えるクセを付け、討論を上手に展開しよう

高校の先輩から直接、受験体験談を伺えたのは助かりました。グループディスカッションでは、テーマや他の人の意見に対して「なぜ?」と疑問を持つようにすると深く掘り下げることができ、次の展開につなげられると教えていただきました。

課題論文は毎日のように対策。試験時間を無駄にしないよう、資料を読むときにポイントとなる点に印を付け、大まかな結論が決まったら書き始めるようにしました。

2次の個人面接では、最後に「なぜこのコースで学びたいのか」という英語の質疑応答が。英語弁論の経験が活き、なんとか答えることができましたが、突然だと慌てるかも。志望理由、自己PRは英語で話せるよう準備しておきましょう。

2年

もろずみ ほのか

諸住 帆乃香 さん (鳥取城北高等学校 出身)

MY
FAVORITE
"TOTTORI"

心安らぐ昔ながらの近所付き合い

道で出会うと優しく声をかけてくれたり、野菜をお裾分けしてくれたり、昔ながらの近所付き合いが今も残っています。何気ない交流がうれしく、心が温まります。

全文は
Webで!



第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2023年度総合型選抜がどのように行われたかについて、学部・学科・コースの募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2024年度総合型選抜が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して
求める力

文化、地域、国際交流など地域と文化に関する分野に関心があり、他者の話によく耳を傾けて理解しようとする姿勢や深く考えを掘り下げる姿勢、それらを分かり易く表現する力を求めます。

グループ ディスカッション	異なる思想や来歴を持つ他者との対話やコミュニケーションに関連する資料4点(A4版8枚)を読んだのち、誰もが自由に意見し合い、共生できる社会を実現するために何が重要か、1グループ7名で120分のグループディスカッションを行いました。
課題論文	明治以前の木版本や写本類を電子書籍化する意義と、それらの本を読む能力(和本リテラシー)の必要性を論じたエッセイ(A4版4枚)を読み、90分で設問(2問)に解答するものでした。設問内容は、著者が和本リテラシーをどのような意味で用いているかの要約(200字以内)、および劣化や散逸が進む資料をデジタル化することに対する受験生自身の考えを、具体例を挙げて論述するもの(800字以内)でした。
個人面接	3名の面接官による、1人あたり15分の面接を行いました。

●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・協働性	創造性	思考の柔軟性
2次(グループディスカッション)	○	○	○	○		○
2次(課題論文)	○	○	○		○	
2次(面接)		○	○	○	○	

社会システム土木系学科

募集予定

2人

わたしの
総合型選抜

故郷と似ている環境で、地域の防災について学びたい

僕の故郷・岡山県は、2018年7月の西日本豪雨による河川決壊や土砂崩れで大きな被害を受けました。それ以来、地域の防災・減災について思いを巡らすように。地域に密着した研究を行っている鳥大工学部には防災の研究分野があるし、同じ中国地方だから風土や環境も似ているのではないかと思います。志望しました。

1次面接はオンラインで実施されました。画面越しに話すのは高校のオンライン授業で慣れていただけ、願書に書いた内容を詳しく説明できていないのか、面接官に「それはどういこと?」「なぜ?」と突っ込まれて焦るばかり。文章や語順が乱れてもいいから、自分の中にある言葉を全部吐き出す勢いで伝え切ることが大事ですね。

2次はポイントを押さえた対策が大事。コツコツ!

過去の受験レポートにもあるとおり、やはり毎日のニュースチェックは重要!ただ目を通すだけではなく、必ず自分の考えを持つようにすると2次選考に活かれます。

小論文の練習は通っていた塾で見てもらいました。すると「説明が遠回りで分かりづらい」という指摘が。字数を稼ぐため、説明をだらだら書いていたんです。結論は端的に述べ、その後に続く理由の部分で字数を整えるよう教えてもらいました。

口頭試問では数学の出題が予想より難しく、ちょっと冷や汗。英語は、渡された英文を黙読・音読し、その後面接官の質問に答えるというもの。英文の内容はほぼ理解できたものの、質問に答えるのは難しかった。英語も基礎固めが大事ですよ。

2年

たにもと りょうた

谷本 涼太さん (岡山県立笠岡高等学校 出身)

MY
FAVORITE
"TOTTORI"

鳥取駅前に湧く温泉でゆったり

市街地のご真ん中に温泉が湧いている鳥取市は、JR鳥取駅から徒歩圏内に温泉施設が幾つもあります。僕のお気に入り、源泉かけ流しの銭湯。最高に気持ちいいですよ。

全文は
Webで!

第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2023年度総合型選抜がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2024年度総合型選抜が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して
求める力

社会システム土木系学科では、工学に関わる専門的な知識とともに、社会のしくみに関わる幅広い知識を持ち、安全で安心な社会の構築に貢献できるエキスパートの育成を目指しています。数学・理科の力とともに、高校時代に履修できるあらゆる科目や活動を通じて積極的に学び、社会のさまざまな課題について多面的にとらえるための幅広い教養を養ってください。

小論文	新型コロナウイルス感染症に対する感染対策として、外出を控える高齢者が増えています。このような社会の状況に関して、超高齢社会の日本において高齢者の外出機会が減少することで発生する問題を挙げたうえで、その問題を軽減し、高齢者の安心、安全な暮らしを実現するために、どのような都市や地域づくりが必要であるかを60分間で論述するものでした(800字以内)。
プレゼンテーション	地域での課題について、口頭発表(5分程度)とその内容についての質疑を行いました。
個人面接	4名の面接官による、1人あたり10分の面接を行いました。
口頭試問	3名の試験官による、1人あたり15分の個人試問を行い、基礎学力(数学、英語)を確認しました。

●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・協働性
2次(小論文)	○	○	
2次(プレゼンテーション)	○	○	
2次(面接)		○	○
2次(口頭試問)	○	○	

生命環境農学科

募集予定

12人

わたしの
総合型選抜



菌類きのこ研究をリードする鳥大を目指して

「きのこから人間の健康が保てるような成分を見つけられないだろうか」。祖母が闘病する姿を見ているうち、そんな思いが芽生えた僕は、その分野で進学先を模索。菌類きのこの研究が盛んな鳥大を見つけたとき、「ここしかない!」と感じました。志望校を鳥大1本に絞り、まずは総合型選抜に挑戦することに。もし駄目でも、学校推薦Ⅰ・Ⅱ、一般入試の前期・後期と、全ての試験を受けるつもりでいました。

願書も2次選考の課題論文も、注意すべきポイントは「読み手に伝えたい自分の意見が、文章の最初から最後まで一貫していること」。まずは自分の意見の芯を決め、そこから逸れないよう注意して書き進めました。

自信を持ってアピールするため、2次対策はしっかりと

グループディスカッションは、相手の意見をしっかり聴く、それを受けとめた上で自分の考えを述べる、自分の意見を押し付けないことに留意して、毎日のように練習。本番では、「誰の目線から見た意見なのか」が発言者ごとに異なっていて、話がうまくかみ合わない場面が。それに気づき、うまく整理する発言ができたのは良かったです。

個人面接は和やかな雰囲気でした。願書に書いたことについて突っ込んだ質問もありましたが、積み重ねた練習どおり自分の思いをアピールできました。短い英文を読んで和訳する英語の問題に加え、生物の基礎的な知識も問われました。教科書を見てざっと復習しておけば問題なく答えられると思います。

3年

はこだ あきひろ

箱田 晃大さん (福岡工業大学附属城東高等学校 出身)

MY
FAVORITE
"TOTTORI"

大玉の大栄西瓜にかぶりつき!

鳥取県の農産物は美味しいものばかり。中でも感動したのが、北栄町産の「大栄西瓜(だいえいすいか)」。とっても甘くてみずみずしい! 実家にも1玉プレゼントしました。

全文は
Webで!



第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2023年度総合型選抜がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2024年度総合型選抜が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して
求める力

生命環境農学科では、自ら積極的に学び、傾聴力と協調性を持って学んだことを実践で応用できることを重視しています。高校時代に履修できる、あらゆる科目を積極的に学び、知力、体力、コミュニケーション力、気力、実践力の基礎を養ってください。

課題論文	「あなたの人生における『野望』は何ですか? それを達成するために、鳥取大学農学部で身につけたい能力とこれを磨くために重点的に取り組みたいことについて、1,000字程度で具体的に記述してください。」という課題について記述するものでした。
グループ ディスカッション	「持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)は、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す開発目標です。達成までに残された時間はあと8年しかありません。混迷を極める世界情勢の中、優先して達成すべき目標を、皆さんのこれまでの経験や見聞を踏まえて議論し、理由とともに3つ選んでください。また、8年以内の達成に向けて、大学生として最も貢献できる目標を理由とともに1つ挙げてください。」というテーマについて、グループディスカッションを行いました。
個人面接	3名の面接官による、1人あたり25分の面接を行いました。また、基礎的な英語についても試問しました。

●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	思考力・判断力	表現力	主体性	協働性	農学の課題解決に対する意欲
2次(課題論文・面接)	○	○	◎		◎
2次(グループディスカッション)			○	◎	

入学前 教育

Webでの研修

e-ラーニング

鳥取大学では2004年度のAO入試(現:総合型選抜)合格者、推薦入試Ⅰ(現:学校推薦型選抜Ⅰ)合格者に対して合格直後から入学前教育を行っています。

2021年度以降の入試合格者からWebを利用した研修を行っています。Web研修ではZoomアプリを利用し、合格者が自宅などからパソコンやスマートフォン、タブレットを使って受講しました。

入学前教育研修のプログラム内容は、下記のタイムテーブルのように、入学前教育を行う意義や使用する教材の利用方法についての説明を行いました。また、合格者の自己紹介の時間や在學生との交流の機会も設けまし

た。在學生と合格者の交流では、Zoomのブレイクアウトルームを使って、合格した学科やコースごと、在學生1名と合格者2~7名のグループに分けました。合格者が在學生に質問などをして大学生活の不安を解消するとともに、先輩や同級生とふれあうことで合格後のモチベーションを保ち、大学生活へのスムーズな導入に向け、サポートしました。

研修後は、e-ラーニングを活用して学習習慣の継続を促しました。

さらに、2月には、学校推薦型選抜Ⅰ合格者と合同で、2回目のWeb研修も実施しました。



参加者の声 1

大学に入学するにあたって一人暮らしをするので、今まであまり家事をやったことがなかった分家の手伝いをするなど、自立するために行動を変えていきたいと思っています。また、余裕を持って入学の準備ができるよう、何月にこれをする、というような予定をしっかりと立て時間にも心にもゆとりを持たせ準備していきたいと思っています。勉強面に関しては、高校の授業や大学からの課題に熱心に取り組み勉学を継続し、学力も向上させていきたいと思っています。

参加者の声 2

大学生活に必要なものや授業選択、通学方法など不安に思っていたことを解消することができ、とても有意義な時間になりました。また、大学生としての心構えも学ぶことができ、改めて大学生ではより一層強い好奇心と積極性を持って行動をしようと思いました。不安と期待でいっぱいですが、充実した4年間を過ごせるように今の期間で勉強の習慣を見直します!

2023年度 総合型選抜合格者入学前教育研修(第1回)のタイムテーブル

内容	11月12日(土)
入学センター長あいさつ	13:00~13:05
研修プログラムの説明(入学センター教員)	13:05~13:55
合格者自己紹介	13:55~14:40
休憩	14:40~14:50
在學生と合格者の交流(ブレイクアウトルームに分かれる)	14:50~15:50
諸連絡(入学センター教員から) 在學生からの言葉(在學生1名ずつ)	15:50~16:15
個別質問への対応	16:15~16:30

工学部社会システム土木系学科では、入学後の指導の参考にするため、次に指定した大学入学共通テスト3教科5科目について、可能な限り受験して、自己採点の結果を報告することになっています。

数 学: 数学Ⅰ・数学A(必須)と[数学Ⅱ・数学B、簿記・会計、情報関係基礎]から1
理 科: 物理(必須)と[化学、生物、地学]から1
外国語: 英語(リスニングを含む)

鳥取大学 総合型選抜 入学者出身校

鳥取大学総合型選抜では、全国各地の高等学校から入学者を迎え入れています。

福岡県

糸島
宇美商業
大牟田
春日
輝翔館
九州国際大学付属
築上西
福岡工業大学附属城東
福岡農業
八幡

佐賀県

伊万里
唐津西
佐賀清和

長崎県

杵岐
諫早農業
大村
海星
上五島
五島

五島海陽
佐世保西
長崎南山
長崎西
猶興館

熊本県

天草
熊本
熊本西
第二
人吉

鹿児島県

大島
鹿児島南
喜界
甲南
志布志

川内
武岡台
徳之島
屋久島
与論

沖縄県

首里
那覇西

南風原
与勝

読谷

広島県

盈進
大崎海星
加計
祇園北
呉宮原
西条農業
上下
庄原実業
世羅

忠海
日彰館
広島県瀬戸内
広島国泰寺
広島皆実
三原
安古市
湯来南

山口県

華陵
田布施農業
防府商工

岡山県

井原
岡山一宮
岡山学芸館
岡山県作陽
岡山県美作
岡山城東
岡山大安寺
岡山東商業

岡山芳泉
岡山理科大学附属
邑久
落合
笠岡
勝山
倉敷天城
倉敷古城池

島根県

大田
隠岐島前
川本
宍道
大社
浜田
松江工業
松江市立女子
松江東
松江南
三刀屋
矢上

鳥取県

青谷
岩美
倉吉北
倉吉工業
倉吉総合産業
倉吉西
倉吉農業
倉吉東
境
青翔開智

鳥取敬愛
鳥取工業
鳥取湖陵
鳥取商業
鳥取城北
鳥取中央育英
鳥取西
鳥取東
鳥取養護
鳥取緑風

八頭
湯梨浜
米子
米子工業
米子松蔭
米子西
米子白鳳
米子東



大分県

大分鶴崎
大分東明
情報科学
日田
別府翔青

宮崎県

五ヶ瀬
高鍋
延岡
日向
宮崎北
宮崎西

愛媛県

今治北
今治東
宇和島東
大島
川之石
川之江
小松
西条
済美
新居浜西

新居浜東
新田
伯方
松山工業
松山西
松山南
三島
南宇和
八幡浜
弓削

徳島県

池田
小松島
城ノ内
徳島科学技術
徳島北
富岡東
那賀
鳴門
美馬商業

香川県

香川誠陵
高松東
高松南

高知県

高知北

※2004～2020年度入試までの鳥取大学AO入試および、2021～2023年度鳥取大学総合型選抜入学者出身高等学校等の出願時の名称です。(都道府県別五十音順)

※各学校名の後の「高等学校」「中等教育学校」を省略しています。

長野県

木曾山林
塩尻志学館
篠ノ井
下伊那農業
須坂園芸
諏訪二葉
白馬
松本工業
丸子修学館

富山県

富山南
入善
伏木

福井県

羽水
啓新
北陸

岐阜県

大垣南
加茂農林
岐阜山
岐阜農林
中津
羽島北
吉城

愛知県

愛知工業大学名電
安城農林
犬山南
新城東
大成
中部大学第一
緑

静岡県

科学技術
島田樟誠
静岡北
静岡県富士見
聖隷クリストファー
常葉大学附属菊川
浜松南
富士宮北
吉原

北海道

クラーク記念国際
札幌開成
札幌西陵
札幌南
登別朝日

青森県

三沢

宮城県

仙台東
仙台向山

福島県

田村

栃木県

宇都宮東

茨城県

S
藤代

群馬県

大泉

千葉県

千葉黎明

東京都

郁文館グローバル
科学技術
多摩科学技術
東京大学教育学部附属

神奈川県

麻溝台
湘南工科大学附属
相模大野
洗足学園

埼玉県

自由の森学園
筑波大学附属坂戸

京都府

大谷
桂
北桑田
北嵯峨
京都学園
工業
須知

塔南
東舞鶴
福知山
紫野
桃山
洛西

大阪府

芦間
阿倍野
園芸
扇町総合
大阪
大阪学芸
大阪産業大学附属
大阪女学院
大谷
開明
関西大倉

北千里
清風
千里国際学園高等部
帝塚山学院泉ヶ丘
農芸
能勢
PL学園
東住吉
枚方
都島工業
早稲田摂陵

滋賀県

八幡
八幡商業
米原

奈良県

五條
桜井
青翔
高田商業
天理
十津川
登美ヶ丘
奈良工業高専
西の京

兵庫県

明石城西
明石南
赤穂
尼崎(市立)
尼崎小田
尼崎北
有馬
伊川谷
出石
伊丹(県立)
伊丹北
加古川西

香住
上郡
近畿大学附属豊岡
賢明女子学院
甲子園学院
神戸商業
神戸西
琴丘
佐用
三田祥雲館
淳心学院
須磨学園

太子
宝塚西
滝川
滝川第二
龍野
龍野実業
千種
西宮北
西宮東
西脇
日生学園第三
農業

浜坂
播磨農業
東播磨
雲雀丘学園
姫路
姫路工業
姫路飾西
姫路商業
兵庫県立大学附属
福崎
北条
北摂三田

御影
三原
武庫荘総合
村岡
夢野台
八鹿
六甲学院
和田山

和歌山県

海南
橋本
南部

三重県

上野
宇治山田
神戸
桑名西
日生学園第一

よくある質問 Q & A

学部・学科構成

朱色が総合型選抜実施学科・コース

Q 総合型選抜と学校推薦型選抜の違いは？

A 学校推薦型選抜は、指定された出願要件を満たし、学校長の推薦書が必要な選抜方式です。

これに対して、総合型選抜には学校長の推薦書は求められませんし、1校からの出願人数に制限はありません。本学のアドミッションポリシーなどの3つのポリシーを理解したうえで、「学ぶ意欲、将来に対する構想」を出願書類、面接等で直接アピールしてください。

Q 総合型選抜の特徴・メリットは何ですか？

A 第1次・第2次選考を通じて、意欲、論理的な思考力・表現力に加えて、高校での学習履歴・基礎学力、課外活動など、高校での様々な経験を評価するのが特徴です。

また、鳥取大学の総合型選抜では合格後にWebによる入学前教育研修を行います。この研修では、入学センター教員からアドバイスを得たり、同級生や先輩の学生と交流を持つことができます。スムーズな大学生活を迎えられるきっかけとなる入学前教育研修を受講できることは、大きなメリットとも言えます。

Q 過去の問題を閲覧、入手することはできますか？

A 過去3年分の入試問題を入試課(鳥取キャンパス)、及び米子地区事務部学務課(米子キャンパス)で閲覧することが可能です(平日9:00~17:00)。ただし、問題文を撮影したり、コピーすることはできません。

また、入学試験情報ホームページで過去3年間の問題を公表(著作権者の許諾を得ない部分を除く)しています。
※農学部における、総合型選抜の閲覧可能物はありません。

Q 出願書類、選抜方法とその内容は？

A 出願書類は、自己推薦・志望理由書と調査書です。なお、これら以外の資料(論文、写真、CD、DVD、USBメモリ)等は添付することができません。

選抜方法は、第1次選考と第2次選考により行います。このうち、第1次選考は、書類選考及び個人面接(15分)により行います。

第2次選考は、学科・コースにより異なります。詳しくは、本誌と7月中旬公表予定の総合型選抜学生募集要項でご確認ください。

Q なぜ、入学前教育を行うのですか？

A 総合型選抜では、合格から入学まで、約5カ月の期間があります。この間、学習習慣を継続させ、基礎学力が低下することがないように、「高等学校での学習」と「大学での学び」を接続するためです。

その内容は、Webによる研修、自宅でのeラーニング、学部・学科指定のレポート提出等です。

Q 学生募集要項の請求、情報の入手方法は？

A 総合型選抜学生募集要項は、7月中旬に入学試験情報ホームページで公表予定です。このガイドに記載されている日程や選考方法等は変更する場合がありますので、必ず募集要項でご確認ください。なお、インターネット出願のため、紙の「募集要項・願書」は配布いたしません。

学部・学科に関する情報は、ホームページに掲載しているほか、オープンキャンパスに参加して、より詳しく情報収集することも可能です。

Q 資格・検定の取得、コンテスト等はどう扱われますか？

A 総合型選抜は、資格・検定を取得したことや各種コンテスト入賞の有無を評価する選抜方式ではありません。しかし、その分野に関心や適性、能力があることを判断する材料となります。

資格取得やコンテスト入賞に至るプロセスなどを説明できるようにしておいてください。

また、本学では入学後に英語力を重視するため、英検、GTEC、TOEIC等を受検した方は、合格証、または、スコアシートの写しを出願書類に同封することとしています。

Q 他の入試(一般・推薦)との関係、有利不利はありますか？

A 本学では、総合型選抜で不合格になった場合でも、その後の学校推薦型選抜(I・II)、一般選抜(前期日程・後期日程)に出願が可能であり、不利になることはありません。(ただし、学校推薦型選抜、一般選抜では、総合型選抜とは異なる観点で評価を行います。)

なお、入試方法によって、入学後のカリキュラムや卒業要件などの教育内容に違いはありません。本学の総合型選抜の入学者は、各学科内、部活動、サークル活動でもリーダーシップを発揮しています。

地域学部 Faculty of Regional Sciences

地域学科地域創造コース
地域学科人間形成コース
地域学科国際地域文化コース

医学部 Faculty of Medicine

医学科
生命科学科
保健学科 看護学専攻
保健学科 検査技術科学専攻

工学部 Faculty of Engineering

機械物理系学科
電気情報系学科
化学バイオ系学科
社会システム土木系学科

農学部 Faculty of Agriculture

生命環境農学科
共同獣医学科

鳥取大学の情報を調べるには

鳥取大学公式ホームページ



鳥取大学入学試験情報



鳥取大学インターネット出願サイト



お問い合わせフォーム



発行元

鳥取大学入学センター

〒680-8550 鳥取市湖山町南4-101 TEL 0857-31-5554 FAX 0857-31-5569